

# 郷の集い

発行 青木鉄治  
 編集 青木鉄治  
 印刷 久野印刷

## 人生七十年健康ですごくそう

校長 齋藤義宣

広い外運が出来ました。毎朝お天気さえよければ、一五〇米のトラックを、全児童が十回走ります。雨の日は内運で十分間位縄とびをします。「ほだし」で一年間の学校生活を送るようになります。晴天のときは、出来る限り、太陽にあたるように外運に出します。教室の中や歩いているときの姿勢を正しくするように矯正しています。

人生七十年を健康で送られたら、どんなに幸せでしょう。今その基礎づくりのときだと思います。やっと生まれてきた人生を、病気で終ると、健康そのもので送るのとは大変な違いです。話しはとびますが、軟骨がくさる、不治の病におかされ、二十才の若さで死んでいった「若きいのちの日記」の作者、大島みち子の歌詩に次のようなのが

あります。病院の外に健康な日を三日ください。一日目 私はとんで故郷に帰りましょう。そして おじいちゃんの肩をたたいてあげて、母と台所に立ちましょう。父に熱カンを一本つけて、妹達と、楽しい食卓を囲みましょう。

二日目 私は飛んで貴方の処にいきたい。あなたと遊びたいなんていいません。お部屋のお掃除してあげてあげて ワイシャツにアイロンかけてあげて おいしいお料理をつくってあげたいの。

三日目 わたしは、ひとりぼっちで思い出と遊びましょう。そして、静かに一日が過ぎたら、



三日間の健康をありがとくと、笑って永遠の眠りにつくでしょう。何と美しい、つましやかな願いでしょう。私は朝目があくと、手を洗い口をすすいで、佛前にお参ります。家族や児童の一日が健康で無事すぎるよう心から念願し読経をします。帰宅すると先ず、佛前に一日の幸せを感謝し、すこやかに過ごせたことを感謝します。児童達の心身の健全な発達を願ってやみません。

### 郷土を愛し心豊かな

### たくましい子供を育てよう

PTA会長 北林 孫右工門  
 青木 鉄治  
 学級委員長

本来、地域社会はその固有の自然や文化の中で、おとなと子供が共に生活を営みながらおとなが子供に対して意図的に、又は無意図的に教育的指導性を發揮し極めて自然に健全な子供を育くんで来た。

しかし、今日では教育の地域離れが浸透し、子供の人間形成にとって大きく作用する地域社会の教育の弱体化が指摘されている。二十一世紀を担う青少年が真に国際人として見本となるためには、まず自らが郷土を愛し、国を愛する心を培うと共に、心身共に健康でたくましい子供に育てることが肝要であろう。そのために、親も自らを反省し健全な青少年育成のために今こそPTAが地域の核となり、地域教育力、指導力の回復に取り組むときと考える。子供の幸せと豊かな未来社会の創造は親と教師の共通の願いであり、その具現のため私達PTAは、これ以上に積極的な取り組みをして行かなければならない。

最後になりましたが、昨年に続きまして今年もPTAの役員を任せられましたので、校下民の方々の御協

### 新任挨拶



教頭 岩本 忠雄

新緑の麗しい季節となりましたが、皆さまにはまずご健勝におすごしのことと存じます。さて、すでにご存じとは思いますが、私こと、この四月一日付けをもちまして新郷小学校教頭に発令されたこのほど着任いたしました。聞くところによりますと、本校は由緒ある伝統をもち、地域の皆さんはPTA会長さんを中心に全会員一致して、学校を盛り立てようとする意気込みで、新体育館、新校舎の建築と運動場の整地等も終わり、ここにすばらしい環境が整いました。どれを見ても、他の地域で見るとの出来ない大へん教育に熱心であるとのこととあります。もとより非才の身ではありますが、心を新たに重責を果たす所存でございますので、前教頭同様格段のご指導ご交誼を賜りたくお願い申し上げます。



ふたふたこねるついで



東

人よりも小さく、いつもめそめそして病気がちで、これでみんなと一緒に学校へいけるのか心配していた子供が、今では楽しそうにして、毎朝出かけます。そんな姿を見て、とてもうれしく思います。



林

「思いやり」つまり相手の気持ちになって考える、心というものが、最近の子供には少し欠けているような気がします。ある本に親子に接する時に、思いやりを持って接すれば、その子にも自然と思いやりの気持ちが出てくると書いてありました。やはり私達親の責任は大きいと思います。生存競争の激しい今の時代に、思いやりの心を育て

るといことは難しいと思いますが、新一年生になって、勉強と同時に思いやりの心も身に付けていってほしいと思います。



岡崎

園児服から、初めて学生服を着て「ぼく、少し大きくなったみたい」と言っている家族の前に立って、嬉しそうに見せてくれたのが入学式の前日でした。

今では、学生服姿にも慣れ、ランドセルを背負って学校へ行き、自分の机、教科書、筆入れ、などで勉強をする気持ちになるが、何をしたら良いかわからない。見る物何でも珍しい物ばかり、これからは青木先生や諸先生の教えを良く学んで人に迷惑をかけない。ガンバリ屋の元気な強い子になってほしいと思います。



村田

桜のつばみもふくらむよ

うに、希望に満ちて入学してから、早や一ヶ月、真新しいセラー服に身をつつみ、大きな黄色いランドセルを背負い、毎日「行ってきまあーす」と元気に出かける我が子です。人一倍大きな声でしゃべり、落ちつきがないかなあと思われるしぐさ、だがやさしいところもうかがえる。これからの六年間、いろんな事にとまどい悩むだろうが、一日も休まず、あきらめずに最後までやりとげる明るい元気な子に、成長してほしいと思います。どうぞ、諸先生方のご指導の程、よろしくお願いいたします。



高橋

つくしが芽を出す春休み美由紀と自転車乗りの練習。私が荷台を押さえてやり、少し走り出すと、そっと手を離し、「そうそう、上手上手。その調子」などと声を掛けながら後を追って行き何度か繰り返した後に「今度は一人で走ってごらん、誰だって最初は転んだりするものよ。転んでも転んで

も何度も練習するのよ。初めから上手な人はいないのよ。」と勇気付け、やっと乗れる様になった時の満足げな顔「はー、一人で乗れるよ」……。



江畑

一年生になる事を日一日と楽しんで来た我が子。四月に入学式をおえて、もう一ヶ月、新しい学生服ランドセル、一段と体になじんではんとうに一年生らしくなりました。小さい時は体が弱かったのですが、すっかり元気になり、近頃は病気もせず元気一杯に育っている我が子も一年生。一年生の生活にもなれて、「学校での勉強では何が好き」と聞くと、「体育が好き、走ったり、さかだちをしたり運動が好き」と言う子供を見て大きくなってスポーツが好きで、どんな事にもへこたれないじょうぶな体とやさしい心をもってりっぱに育ってほしいと思います。



高戸

月日の経つのも早いもので、不安と希望の一年生、やがて一ヶ月が過ぎ、学校生活にも慣れた様で、私達もひと安心している次第です。

これから卒業する迄の間皆んな仲よく、学校生活を送って欲しいものですね。そして、子供の為に、毎日毎日の会話を第一にしたものです。



小嶋

新緑の候、希望に胸膨らませて入学した一年生もはや一ヶ月が過ぎようとしています。幼稚園で体験した環境とはまた異質のものを子供ながらに感じ、一年生になっただというのを認識している様子がうかがえる今日この頃です。夜は「たんぼぼ」を見ながら時間割を合わせ、朝は「重たいなあ」と言いがらも大きなランドセルを背負い元気に「行ってきます」と家を出る。そんな姿を見るにつけ、子供の成長の早さにただ驚くばかりです。そし



三上

我が家も二人目入学となりました。泰代です。入学して一ヶ月、ランドセル姿もさまになってきました。

学校での様子も得意気に話してくれます。今の調子で六年間、健康でのびのびと素直な子になってほしいと願っています。

諸先生方、先輩の皆さんこれからは、いろいろな面でお世話になりますが、宜しくお願い致します。



原田

親とは名ばかりで、祖母任せ、祖母に育ててもらった絹代です。それでも、保育園時代にかかったいくつもの病気には心が痛みました。それにひきかえ、幼稚園では精勤賞をいただき、本當にうれしく思いました。新郷小では、少々の熱ぐらいで学校を休ませないよ



うにどのお話があったとか：ありがたいなと思います。運動場を九周走ったとか、竹馬で三歩進んだとかを報告してくれ、体育が一番好きという事です。病気に負けない立派な心身を培ってほしいと願います。



吉江

「ピッカピッカの一年生」そんなコマージュを聞いたのが昨日のように思える四月一日、入学式を迎えました。恥ずかしそうに、それでいてうれしそうに、まさにピッカピッカに輝いて見えました。

今までは「お母さん服とハンカチ持ってきて」と甘えていたのが、この頃では自分で用意をするようになり、何となくお兄いちゃんになったようです。今は、毎日が楽しくて、ようがないという感じで、宿題にプリントがあるとすぐにやっています。これからも、この気持ちを忘れずに勉強に運動にと頑張ってもらいたいと思います。



西正

入園以来、体育館、新校

舎と、この子達の為に建てられたように、次々と新築されこんな幸運な子供はいないので、ないのでしようか。

セーラー服にランドセル姿の我が子を見て、月日の経つのが早いものだと思っております。

これから、六年間恵まれた環境の中で、のびのびと学習に励んでほしいと思います。

校長先生はじめ諸先生方の末長い御指導を、お願い申し上げます。



斉藤

「……、はよしねま。」「いつてきまーす。」朝のあわただしいひとときです。ついでこの間まで、園児服姿だったのに、セーラー服を着て、スカートをはいて大きいランドセルをしょって、何となく一年生に見えてくるから不思議です。

生後三ヶ月検診の時、お医者様から「一〇〇人並んだら前から三番目ですよ」と言われた程小さかった娘ですが、大した病氣もせず元気に一年生になり毎日喜んで登校してくれますので大変うれしく思っております。これからも元気で明るく、すなおな子供に育て

くれればと思っております。

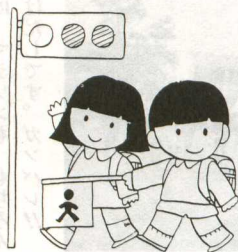


斉藤

末っ子で甘えん坊の長男がもう一年生。月日のたつのは早いものですね。

待ちに待った入学式の当日は早くから目がさめたくして自分で起き、洗顔、食事とさっさと学校に行く用意をすませ緊張した面持ちで出かける時間を待っていた事を思い出します。

上の子供二人が女の子だったせいか、幼稚園の先生や周りの人達にはおとなしい性格だと言われますが、家の中ではまさに我が家の王様といった感じで振るまっています。ただ父親だけには頭が上らず、一言でも十倍程のききめがあります。人一倍おせっかいやきで責任感強い方ですが、クラスの皆と仲良く六年間過ごしてほしいと思います。



# なかよし

## きく組



篠崎

幼稚園に通いはじめて、早や一ヶ月が過ぎようとしています。

最初の頃は、保育園と違って、毎日歩いて通うので「保育園の方がいいなあ」と言っていたけれど、此の頃では毎朝元気よくお兄いちゃんとお出かけるのを見てホッとしています。

これからは雨の日も、風の日もがんばって園に通って、きく組さくら組の子供達と仲よく元気よく遊んでいろんな事を学んで大きくなってほしいと思います。



酒井



小西

田んぼの向こうに見える白い建物。去年の春、あの新しい校舎を見るたびに、「来年は、あの幼稚園に通うんやよ。」と話してやるか。「保育園の次は、幼稚園か。」と嬉しそうでした。

あの頃はまだまだ間があると思っていました。はや入園。成長の早さを感じ

ずにはいられません。

入園して一月。早朝の集団登校にも慣れ、元気に出かけて行きますが、その一番小さな後ろ姿を送るたびに、ついていけるのかな、仲良くできるのかなと心配になります。でも、村の前まで出迎えてくれる祖母を見つけて、笑顔で走って帰ってくる毎日です。

このまま、素直な明るい子に育ってほしいと願っています。

入園してはや一ヶ月が、たとうとしています。あんな小さな体で、毎日一生懸命歩いていて、でも夜になると疲れてしまうやら、ぐっすり寝こんでしまします。

きくぐみは、たったの三人しかいないのに驚きでしたが、保育園からのお友達ばかりで、自然にとけていっていった様子でした。新校舎での子供達の生活が、目に浮かぶようです。お兄いちゃんや、お姉えちゃん達に囲まれて、いろんな経験をすることだろうと



中林 香先生

二年生担任の八十嶋先生が産休をとられる為、代わりの先生が五月から来られることになりました。先生は東京国立音楽大学声楽科を今春卒業。出身地は三国町米納津です。青田につつまれた美しい学校に先生の美声がこだまし、一段と華やぐことでしょう。

### 担任の紹介

- きく組 (三名)
- さくら組 (十五名)
- 五十川 美津子先生
- 一年生 (十四名)
- 青木 香代子先生
- 二年生 (八名)
- 八十嶋 早苗先生
- 三年生 (十五名)
- 藤井 さち江先生
- 四年生 (十二名)
- 清水 誠先生
- 五年生 (二十名)
- 山口 達男先生
- 六年生 (十七名)
- 宮川 哲二郎先生



